

## 熊本城のカギ

熊本城調査研究センター 増田直人

「カギ(鍵)」とは？

かぎ【鍵】[「鉤(かぎ)」と同源]

- ① 錠(じょう)の穴に差し込んで、戸や箱の蓋(ふた)などを開閉するための器具。キー。  
「一をかける」
- ② 錠(じょう)。「玄関に一をつける」
- ③ 事件や問題を解決するための、重要な手がかり。キーポイント。「事件解決の一を握っている」(スーパー大辞林)

鍵と錠 今回は、これを総称して「カギ」「施錠具」と総称する

### 第 1 章 鍵と錠前の歴史

#### 1 西洋のカギの歴史

原始、古代のカギ

ウォード錠の登場と精緻化

近代におけるカギの飛躍的革新

#### 2 東洋のカギの歴史—日本を中心に—

日本におけるカギの出現と古代のカギ

中世におけるカギの形態変化

近世におけるカギの革命

### 第 2 章 熊本城跡出土のカギ

#### 1 本丸御殿跡から出土したカギの概要

#### 2 出土したカギからわかること

### 第 3 章 まとめ



江戸時代におけるカギの  
二つの形態

主な参考文献

- ・日本ロック研究会編 1968『錠と鍵』井上書院
- ・INAX ギャラリー名古屋企画委員会 1990『鍵のかたち・錠のふしぎ』  
INAX BOOKLET'90 株式会社 INAX
- ・赤松征男 1995『錠と鍵の世界 その文化史とプラクティカル・テキスト』彰国社
- ・合田芳正 1998『古代の鍵』ニュー・サイエンス社
- ・里文出版編 2001『世界の錠と鍵』里文出版
- ・グレン・マーフィー 2008『発明=inventions』insiders ビジュアル博物館 昭文社
- ・A. C. Hobbs 2020『*Rudimentary Treatise on the Construction of Locks*』  
The Project Gutenberg eBook